

## 【2018 年度の活動方針】

会員の減少、高齢化に伴う活動会員の減少により活動が沈滞化傾向になっている現況下、4月の会報に掲載の通り、以下4点を重点課題として拠点の活性化に取り組んでいきます。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

### 1) 「会員の増強」

当拠点の会員は、2016年11月250人をピークに本年3月には217人とピーク時に比べ33名の減少です。要因はく亡なられた方や高齢を理由に活動が出来なくなった、子女のもとに転居と同時に退会などです。

同時に活動会員もかなり減少しました。これでは現状の活動が停滞の一途です。皆様のご協力をいただいて友人・知人への声掛け活動や公共施設へパンフレット・チラシなどの配布、同好会活動の更なる活発化などで会員の増強を図らなければなりません。最近、大学生（ジュニア会員）などにも声を掛けており入会に繋がれば提供会員として大きな戦力になると思っています。

### 2) 「潜在利用会員・活動会員の掘り起し」

会員の高齢化とともに利用会員が増えてくると思われますが、なぜかナルクを利用するのが嫌だ、ヘルパーには頼めるが、ナルクには頼みにくいという気持ちがある人がおられるようで利用会員が思うほど増えてきません。

初代代表の松本さんのお話では、会員に対して、拠点のPR不足ではとの声がありました。もっと引き出すこと考えないと利用者は増えないとの意見でしたので、これをきっかけに皆さんから利用対象者に積極的に声を掛けていただくようお願いいたします。一方、活動会員も高齢化とともに減少傾向です。

活動会員を増やして活性化することも重点課題です。

### 3) 「行政・社協との連携強化」

全国各地の行政・社協では平成29年4月から介護予防・日常生活支援総合事業に取り組んでいます。この対象は65歳以上の高齢者で要支援1・2、および事業対象者について介護予防と日常生活の自立支援することを目的としています。

現在のところ宝塚市初め近隣の市町では訪問型サービスA（事業者主導）のみ対応しており、ナルクなどボランティア団体に声が掛かってこないようです。

また、委託事業も取り組んでいないとのことですが、今後の進捗状況によっては、自治会や我々ボランティア団体にも協力を求められることが予想されますので緊密な連携が必要と考えております。

### 4) 「拠点運営の強化」

拠点運営強化のために事務局業務の人材が1名確保ができましたが、更に増強したいと思っています。また、現在、コーディネーターは10名いますが、高齢で活動出来ない人が増えています。従って、新しいコーディネーターを増やして拠点運営の活性化を一層強力に進めて行きたいと思っています。